

## 国立大学法人大阪教育大学学長候補者選考基準

令和3年6月18日

国立大学法人大阪教育大学学長選考会議

国立大学法人大阪教育大学は、我が国の先導的な教育大学として、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成を通して、地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命としている。このため、本学学長には次の資質・能力を有し、本学の教育研究活動を適切かつ効果的に運営できる者であることを望む。

### 1. 次期学長に求める資質・能力

- 人格が高潔で、学識が優れ、高い倫理観を有し、我が国の先導的な教員養成大学としての教育・研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有すること。
- 本学の未来を切り拓くための明確なビジョンを持ち、急速に変化する社会の要請に迅速に対応した大学改革・運営を行うことができる視野の広さと、卓越した企画力・決断力・実行力を備えていること。
- 本学の最高責任者として教職員を指揮監督する立場と責任を自覚し、大学構成員とのコミュニケーションを円滑に行い、その意欲と創意を引き出し、全構成員を牽引する強力なリーダーシップを有すること。
- 学内外において、良好な信頼関係と協働体制を構築するとともに、本学の存在感及び特色と魅力を発揮するための明確なビジョンを提示する発信力を有すること。

### 2. 対応すべき課題

- 課題解決型の能動的学修を中心とした教育への転換を図り、最善解を導くために必要な専門的知識及び汎用的能力を育成すること。
- 大規模教員養成単科大学のスケールメリットを活かし、附属学校、国内外の大学、教育委員会を含む自治体、産業界等との連携を進展させ、ニューノーマルにも対応した、教育現場に資するイノベーションを創出すること。
- 異なる文化との共存や国際協力の必要性を理解し、教育現場の国際化に貢献できる人材の輩出を通じ、日本の国際化に貢献すること。また、都市型キャンパスを活用した社会人向け大学院教育を展開し、多様な頭脳循環を実現すること。

- 教育現場に求められる変革に教育委員会・学校現場・行政・産業界・大学等が、それぞれ抱える課題（弱み）や資源（強み）を一堂に集積し、大きな成果を生み出す仕組み（地域連携プラットフォーム）を構築すること。
- 大学改革の推進や様々な取組への強化を図るため、学長及び大学運営体制のガバナンス機能を強化すること。
- 連合教職大学院を構成する大学との連携関係を深めるとともに、教育研究力の向上に資するため、他大学との教育研究資源の共有化を推進すること。